

市政を問う

一般質問



上田 倫久 議員
(かがやき)

犯罪のない安全・安心な地域づくり！

社会を明るくする運動！

問 本市では、どのように啓発し、行動をとっているのか

答 毎年7月の社会を明るくする運動の強調月間の初日には、豊岡保護区の保護司会の方と一緒に、街頭での広報パレードに市の幹部職員等も同行し、市民の皆さんへのキャンペーン等に取り組んでいる。また、広報車での広報活動等も行っ

ている。強調月間ということで市の広報紙、防災無線での放送、市庁舎前の懸垂幕の掲揚等の啓発に取り組んでいる。

問 但馬・豊岡における専門職大学の位置づけと進捗状況は

答 専門職大学とは、大学と専門学校の両方の機能を兼ね備えた4年制大学になる。

「再犯の防止等の推進に関する法律」についてどう取り組むのか

答 再犯防止推進計画を踏まえて、地方の再犯防止推進計画を定めるよう努力義務が規定されている。国の計画の策定を受け、都道府県や市町村に対しての通達を確認し動きを見極め、対応を考える。確保の動向のニーズ調査、

専門職大学について

夏ごろに設置基準等が公表されるとい見込みであり、兵庫県で検討がなされる。本市では、高等教育機関の状況調査、学生確保の見通し、人材

問 文部科学省は、地域住民と学校が目標やビジョンを共有して、地域とともにある学校づくりを推進している。

答 市内の現状を見てコミュニティスクールのような仕組みの必要性を感じている



学校は、今でも多くのボランティアのみなさんに支えられています



松井 正志 議員
(とよか市民クラブ)

コミュニティスクール設置の必要性があるか

問 評議員制度やボランティア制度を利用して、地域住民の参画による学校と地域が連携する仕組みがあり、多くの方に適切な支援をいただいている。コミュニティスクールには、学校運営の基本方針の承認、学校運営へ意見を述べるなどの条件があるが、教職員の任用

分野は、支援の効果が出て事業が活発化するに伴いビジネスチャンスが出てくる。市が積極的に支援している分野で、起業につながる事例があるか

答 起業は難しいが、個人の小さな起業やすでに事業を行っている人の新たな事業化はあり得る。城崎で外国人に対応して事業を起した人もいる。市内のホテル周辺で空き店舗を活用した飲食業や、カバンストリートで靴ショップや靴と合わせたカフェなどの事例もある。

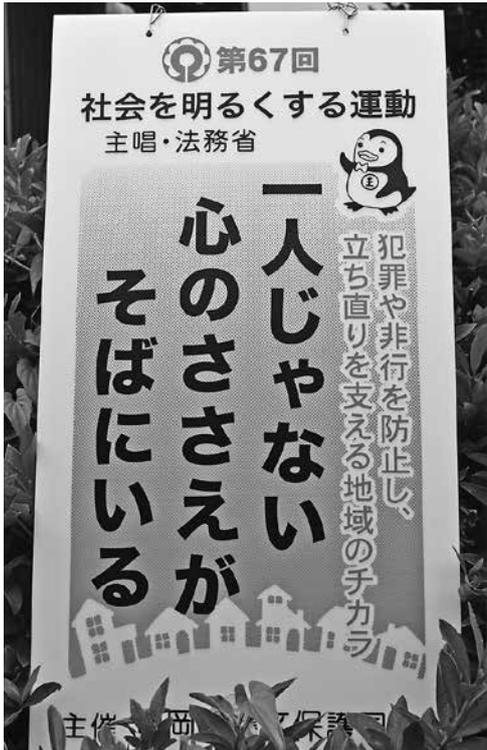
問 コワーキングスペースの整備に伴い、どんなメリットが生じたか

答 靴協会はフロアの無償譲渡により、固定資産税や維持管理費の負担が無くなった。地場産センターは貸事務所収入が得られる。豊岡DMOはスペースを利用する人とのつながりが生まれる。

靴産業など市が支援する分野で起業があるか

問 靴産業への支援、インバウンド対策、芸術活動、環境農業など、市が政策的に力を入れている

答 靴産業への支援、インバウンド対策、芸術活動、環境農業など、市が政策的に力を入れている



犯罪のない安全・安心な社会の実現を！

問 設置、設置後の運営シミュレーション等を行う調査業務の委託事業者を募集し、6月中旬には事業者の選定を行う。

市政を問う



田中藤一郎 議員
(かがやき)

子育て支援対策はとつても重要だ

問 現在行われている子育て支援対策で、子育て世帯に対して十分な対策といえるのか

答 まだまだやるべきことはたくさんあるので、

ならず、命への共感、つまり男女が一生懸命「命」を育てている、そのことに共感を持ってなんとか応援しようという観点から、子育て支援というのはできる限りの充実を図りたい。また、現場の声を届け

なんといっても人口減少対策に全力を！

ただの対応をしたい。教育支援対策について

教育支援対策について

問 高等学校の通学費は、1人、1万5千円までだが、2人以上にもなると非常に大きな負担になる。今後の新しい試みとして軽減策は考えられないか

答 現在のところは、今の状態で進んでいくのが良いと考えている。

地域産業支援について

問 観光、インバウンド等、大きな強みとなり得る農産物の地産地消について、コウノトリ米以外の支援策についてはどうか

答 コウノトリの舞というような減農薬タイプの農産物を推奨しており、地産地消ということではないが、豊岡の農産物についてPRをしていきたい。

問 今後、本市として子育て支援策等があるのか



楽しい親子交流をこれからもずーっと！

答 人口減少対策という観点のみ



伊賀 央 議員
(みらい)

15年ぶりの新教育長 教育に懸ける思いは何か

問 市長として4年間の新任に、この先の社会的潮流をどう捉え、先を読むのか。さらに今後具

答 最大の潮流は人口減少だ。直近の分析で本市は女性に選ばれていない。若年とりわけ女性についてどう対応するか非常に重要で実現する可能性を探りたい。小さくてもいいのだと住む人々がどっしりした態度を持つ街を作りたい。その方向性や基礎を4年間で築きたい。

問 15年ぶりの新教育長就任にあたり鳴教育長は今後の豊岡の子どもたちの学びについてどんな観点から進めるのか

答 東井義雄先生は、子どもを感じ方、思い方、考え方は子どもの命のあらわれで、それらを粗末にして教育はできないと寄り添う教育の重要さを指摘した。この理念に基

づき施策を展開したい。一方で先を見据えた教育も必要で、ふるさと教育、コミュニケーション教育、英語教育を基軸とした豊かな教育。重要な施策だ。現場は多忙感を抱えたと思うが今年はやり切ることには徹したい。子どもが元気で子どもや先生も生き生きする教育環境に全力で取り組むたい。

問 経済的事情による子どもたちが経験すべき実体験の剥奪は子どもの育ち、気づきの観点から大いなる損失だ。先議会の問題提起後の検討状況は

答 本年度庁内連絡会議を開催し貧困対策の現状や対応を協議している。子どもの就学率、高校の中退率など、貧困に対する指標に市の把握が可能な、困難な場合はそれにかかわる指標の有無の洗い出しを進める。実態調査が必要ならアンケート実施も検討する。今洗い出し作業を進めており実態把握を進めた上、必要な施策について検討したい。



何にもまして大切な子どもたちのさまざまな経験